

寄稿◎ IWA 東京総会を振り返って



グローバルウォータ・ジャパン代表

吉村 和就

前回大会の課題はどうなったか

9月16日から5日間にわたり繰り広げられた国際水協会（IWA）東京総会・展示会が成功裏に幕を閉じた。世界会議・展示会（東京ビッグサイト）への総来場者数は9500人を超え、同会議で史上最高を記録した。閉会式で、元IWA会長のグレン・ダイガー氏は「東京総会は大成功、日本の組織運営は本当に素晴らしいイベントとなった」、会議の主題である持続可能性、レジリエンス、水防災に対する備え、地

IWAは、世界における安定かつ安全な水の供給の課題を指摘して

2年前に指摘した上記項目については、省庁間

日本の下水処理の素

確かに今回のIWAは

2年後2020年に開

ことをしてもらいたかっ

持続可能性と強靱化 日本の取り組みに期待

震への備えなど、日本の経験・ノウハウを共有できたことに感謝する」とコメントを述べた。会議の内容や展示会の詳細などは、今後多くのマスメディア、水関連誌、ウェブなどで「いかに東京総会が成功した」ことが公開出版されると思うが、長

年IWA総会に出席し、世界の流れの中から別の角度で東京総会を振り返ってみたい。その目的は、これからグローバルに「日本の水関連技術・ノウハウや考え方を展開するために多面的な取り組みが求められている」からだ。

給および公衆衛生に寄与することを目的として設立された非営利機関で、2年に一度世界会議を開催している。

筆者はIWA世界会議にカナダ・モントリオール（2010年）、韓国・釜山（12年）、豪州・ブリスベン（16年）と連続して参加し、取材を続け

厚生労働省・国土交通省と各省庁の連携強化

海外からの参加者

筆者は4日間、展示会場の各社のブースを回ったが、多くの若い社員や外国籍の社員が多く、熱心に海外の参加者に語り掛けており、日本もチャンスさえ与えられれば頑張る国民性を感じた。彼らが管理職になる際には、「海外と直接会話ができ、社内デシ

IWRM（統合水資源管理）が最も必要だが、今回は水災害のみの感じ

2年後2020年に開催されるIWAデンマーク総会（コペンハーゲン市）に向けて世界に披露できる日本の「水に関するサステナビリティと

水防災に対する備え、地

筆者はIWA世界会議にカナダ・モントリオール（2010年）、韓国・釜山（12年）、豪州・ブリスベン（16年）と連続して参加し、取材を続け

厚生労働省・国土交通省と各省庁の連携強化

海外からの参加者

筆者は4日間、展示会場の各社のブースを回ったが、多くの若い社員や外国籍の社員が多く、熱心に海外の参加者に語り掛けており、日本もチャンスさえ与えられれば頑張る国民性を感じた。彼らが管理職になる際には、「海外と直接会話ができ、社内デシ

IWRM（統合水資源管理）が最も必要だが、今回は水災害のみの感じ

2年後2020年に開催されるIWAデンマーク総会（コペンハーゲン市）に向けて世界に披露できる日本の「水に関するサステナビリティと

ことをしてもらいたかっ

これを生きた教育である。



盛況だった日本企業のブース